



六甲山魅力再発見市民セミナー

市民セミナーVol.53
スミスネズミ捕獲作戦
/ 恩地 実
2007年8月発行



スミスネズミ

第53回テーマ： スミスネズミ捕獲作戦

講演内容

- ①小哺乳類・スミスネズミとは
- ②アカネズミの移動についての研究成果
- ③スミスネズミの由来

実施日：平成19年8月18日（土）

午後1時～3時30分

場所：六甲山自然保護センター

レクチャールーム



講師：^{おんち}恩地 ^{みのる}実さん
プロフィール

1948年生まれ。大阪出身。甲南大学理学部生物学科卒業後、京都大学理学部動物学教室動物生態学研究室研修生を経て現職。

猛暑の中で整備活動

午前中の景観整備活動には13名が参加しました。猛暑で六甲山でも30度近く、みんなで汗をかきながら散策路入り口付近の整備をしました。去年刈ったササがまた繁茂しているの、もう一度ササを刈りました。去年ササを刈ったところからは、今までにはなかった植物も生えています。

散策路に覆いかぶさって景観を暗くしていたツル植物も伐採しましたので、明るくて歩きやすい道になりました。



散策路脇のアキノタムラソウ

生きたスミスネズミと対面

午後からの市民セミナーは、甲南高校の恩地さんにお話をいただきました。恩地さんはセミナーの前日に、人と自然の博物館の鈴木さんと共に、夜通しでスミスネズミを捕獲する作戦をされました。ところが、数十箇所に仕掛けた捕獲箱の大半をイノシシに壊されてしまったそうで、残念ながらネズミは一匹も捕まえられませんでした。

別途に捕獲して用意されたスミスネズミとアカネズミを展示していただき、無事対面できました。

スミスネズミは六甲山の珍種

スミスネズミは六甲山で新種登録されたネズミで、100年間存在が見つかっていなかったネズミですが去年発見されました。ネズミにはネズミ型とモグラ型の2種類があり、スミスネズミは運動能力の低いモグラ型だそうです。スミスネズミの生態はほとんど分かっておらず、六甲山のどこに住んでいるのかも分からないそうです。

小哺乳類の実態調査に参加しませんか

恩地さんは「スミスネズミ捕獲隊」への参加を呼びかけておられます。六甲山小学校の生徒の大石昂生君も有力メンバーで、自然保護センターの展示ルームに見事な昆虫標本や、スミスネズミの骨格標本を展示されています。生態の不明な小哺乳類を実態調査し、保護を進めるといった試みを支援したいです。

※詳しくは、1. 2ページをお読みください。

参加の感想 伴 美香さん

初めての六甲山自然保護センターでした。午前中は、池の水質調査と生き物探しでした。モリアオガエルのオタマジャクシはたくさんいるし、網なしでヤゴも捕まえられてとても楽しかったです。捕まえたヤゴを後で調べてみると、オオヤマトンボかコヤマトンボの可能性が高そうでした。昼からのネズミのセミナーでは、初めて野生のネズミを間近で観察できました。ネズミの話も聞いて、とても面白い1日でした。また参加したいと思います。



主催：六甲山自然保護センターを活用する会

協力：兵庫県立人と自然の博物館

後援：兵庫県神戸県民局 灘区役所 神戸市教育委員会

【助成金をいただいている機関】

コベルコ環境保全基金、セブン-イレブンみどりの基金
ひょうご環境保全創造活動、コープこうべ環境基金